

新しい常任・議会運営委員会の構成です

(◎委員長 ○副委員長)

所信表明で「議会改革」の訴え

議長・副議長選挙が行われる

臨時議会では議案採決の後、現職の議長から辞職願が出されました。暫時休憩に入り、別室で非公開の全員協議会の場で、立候補表明者からの所信表明がありました。その後、本会議を再開し投票。新議長が決まった後、同様の流れで副議長選挙も行われました。選挙結果は次の通りです。

議長選挙	
○石井芳隆議員	23票
無効	5票
副議長選挙	
釘丸久子議員	4票
○難波達哉議員	24票

新議長は石井芳隆議員、副議長は難波達哉議員となりました。

各常任委員会と議会運営委員会の構成も決まりました。

厚木市議会での議長・副議長選挙の所信表明は、2011年8月の臨時議会から始まり、議会改革の一環として行ったものです。

前日までに立候補表明をした議員が全員協議会で所信表明をします。しかし、市民や理事者には、誰が立候補をしたのか、どのような所信を持っているかは伝わりません。本会議場での就任あいさつはあっさりしたもので、所信表明の内容にはほとんど触れませんでした。

厚木市議会を、より「見える議会」とするため今後の改善が必要です。

日本共産党厚木市議員団の新しい委員会は次の通りです。

釘丸久子議員

市民福祉常任委員会

議会運営委員会

広報広聴特別委員会(委員長)

栗山香代子議員

都市経済常任委員会

厚木市立病院特別委員会(副委員長)

中心市街地活性化検討協議会

議会運営委員会(9人)

- ◎川口 仁 (公明党)
○瀧口慎太郎 (あつぎみらい)
釘丸久子 (日本共産党)
神子雅人 (あつぎみらい)
松本樹影 (改革あつぎ)
小島一郎 (改革あつぎ)
井上敏夫 (市政クラブ)
名切文梨 (民主クラブ)
寺岡まゆみ (公明党)

市民福祉常任委員会(7人)

- ◎田上祥子 (公明党)
○井上敏夫 (市政クラブ)
釘丸久子 (日本共産党)
高田 浩 (改革あつぎ)
小島一郎 (改革あつぎ)
沼田幸一 (あつぎみらい)
難波達哉 (あつぎみらい)

総務企画常任委員会(7人)

- ◎越智一久 (あつぎみらい)
○古川 環 (民主クラブ)
徳間和男 (改革あつぎ)
奈良 握 (市民の党)
川口 仁 (公明党)
石井恒雄 (市政クラブ)
井上 武 (新政会)

都市経済常任委員会(7人)

- ◎松本樹影 (改革あつぎ)
○遠藤浩一 (公明党)
栗山香代子 (日本共産党)
瀧口慎太郎 (あつぎみらい)
松田則康 (あつぎみらい)
太田 洋 (改革あつぎ)
泉 修 (子育て応援)

環境教育常任委員会(7人)

- ◎松前 進 (改革あつぎ)
○内川由喜子 (神奈川ネット)
名切文梨 (民主クラブ)
渡辺貞雄 (あつぎみらい)
神子雅人 (あつぎみらい)
寺岡まゆみ (公明党)
石井芳隆 (つばさ)

釘丸久子議員の副議長選の所信表明は次のとおりです

厚木市議会副議長選挙に当たり所信を申し上げます。
8月6日、7日と全国市議会議長会研究フォーラムが岡山市で開催されました。

人口減少時代に突入した現在、議会は10年後20年後の自治体を展望し、将来を誤りの無いものにするための提言を行う事が重要であること、財政再建の時代から、地域再生の時代が変わったのであり、住民の働く場所、学ぶ場所、くらしの場所としての地域づくりが重要でありと指摘されました。

さらに政府見解だからと言って国の方向ばかり見ていたのでは、市民のくらしを守ることはできません。安倍内閣は、秘密保護法、集団的自衛権、教育改悪など「戦争のできる国」に邁進しています。

すみよい厚木を作るために議員はどうあるべきか、二元代表制の一翼を担う機関として、単なる首長のサポート集団であってはならないと強調されました。

この間のいろいろな事件や不祥事で、市民の議会・議員に向ける目が厳しくなっています。市民の厳しさは期待の表れでもあります。

今回のフォーラムでは地方分権における議会改革が大きなテーマでした。議会は変わったか、どう変わるべきか。

厚木市議会ではこの間、議会改革を進めてまいりました。開かれた議会を進めるべく議会報告会を実施しています。議長・副議長選における所信表明も行われています。それは私達厚木市議会議員でしかできません。個々の議員の力量を上げること、集合体としての議会がどうあるべきかを考えていかなければならないと思います。

議員としての職責を自覚し、研鑽に励み、議会の論議を活発にすることが求められます。

厚木市議会をさらに活性化させ、市民に開かれた議会とするために、新議長と一緒に力を尽くすことを約束して、私の副議長選挙に向けての所信表明といたします。

